

こころ、つなぐ、ならは、明日へ!!

広 報

ならは

2019 APR 第591号

4

特集

移住 檜葉に住む理由

ならはスカイアリーナ、まもなくOPEN

当初予算で紐解く今年1年

今年度の檜葉町の主な予定

プール・フィットネスルーム 料金表			使用料	
			一般	高校生以下 (高専校生を含む)
プー ル	専用使用 (一部専用使用の使用料は、1/2相当額)	9:00~12:00	5,000円	2,500円
		12:00~17:00	8,500円	4,250円
		17:00~21:00	9,000円	4,500円
	個人使用	ビジター利用(3時間以内)	500円	250円
		回数券(11枚)	5,000円	2,500円
		会員利用(1か月)	3,000円	1,500円
		会員利用(1年)	33,000円	16,500円
	法人会員使用	回数券(60枚)	27,500円	
		回数券(130枚)	55,000円	
幼児用プール	未就学児のみ使用可能	※保護者等の同伴が必要です		無料
フィットネス	個人使用	ビジター利用(3時間以内)	500円	
		回数券(11枚)	5,000円	
		会員利用(1か月)	3,000円	
		会員利用(1年)	33,000円	
	法人会員使用	回数券(60枚)	27,500円	
		回数券(130枚)	55,000円	
プー ル・ フィットネス共通	個人使用	ビジター利用(3時間以内)	1,000円	
		回数券(11枚)	10,000円	
		会員利用(1か月)	5,500円	
		会員利用(1年)	60,000円	
	法人会員使用	回数券(60枚)	50,000円	
		回数券(130枚)	100,000円	

※アリーナや会議室の利用料金については別途お問い合わせください。

※料金のお支払いは現金のみの対応となります。

●営業時間／9:00～21:00 ●休館日／水曜日

●お問い合わせ先／ならはスカイアリーナ ☎0240-23-7966

ならはスカイアリーナ 4/13㊥オープン

プール&ストレッチのご案内 **無料** (入会不要)

ならはスカイアリーナで楽しく運動しませんか？
Jヴィレッジのトレーナーが、元気で笑顔になれるメニューを提供します！

対象者	30分程度歩くことに不安がない程度の体力があり、医師から運動制限に関する指示等を受けていない方(定員:20人程度)	
日程	日にち	[全10回]5月10日～7月12日の毎週金曜日
	時間	9時45分～正午
場所	ならはスカイアリーナ	
内容	ストレッチ・水中ウォーキング・アクアビクス等	
持ち物	水着・水泳帽(キャップ)・タオル・上履き・運動しやすい服装・水分	
申込方法	4月26日(金)までに住民福祉課保健衛生係にご連絡ください。先着順に受け付けます。	
注意事項	●原則として、10回続けて参加する教室です。 ●都合により日程や内容等が変更となる場合がありますのでご了承ください。	

●お問い合わせ先／住民福祉課保健衛生係 ☎0240-23-6102

多彩なフィットネスマシン
イメージ写真(ジョンソンヘルステック㈱提供)



アリーナには
ランニングコースや
400席以上の観客席

25m×6コースのプール
イメージ画像の手前には幼児用プール

入会受付開始は4/14㊥9:00START!
入会金と本人を証明できるもの(運転免許証等)をもってスカイアリーナへGo!

テーブルカット終了時、投げ餅 内覧終了後、マミーすいとん・コーヒー振る舞い

11:00	11:20~12:00	13:30~15:10	15:10~16:30
テーブルカット	内覧会	講演会&バドミントンクリニック	内覧会



谷 咲月さん

大熊町の放牧場「もーもーガーデン」では、原発事故で被災し殺処分されかけた牛たちが、現在、元気に草刈りの仕事をしています。谷さんは、この放牧場を運営する(一社)ふるさと心を守る友の会の代表を務める方です。

平成27年9月、避難指示が解除され、転入が可能となると、谷さんは檜葉町の住民になりました。町内のコンビニエンスストアで働きながら、牛の世話を続ける谷さんの笑顔はこんがりと日焼けしています。出身は静岡県。



移住

1

檜葉に住む理由

私たちのふるさととは、「外」からはどのように見えているのかー。
ほかの土地から檜葉を選んで
移り住んでくれた人たちを、
今月と来月の2回にわたってご紹介します。

震災の当時は東京で働いていたのですが、たまたまテレビで餓死しかけた馬と牛の映像を見たのです。馬は救出されましたが、牛はまだだったので、農家の方々から「助けたい」という声が寄せられ、こちらへ来ました。元々銀行勤めなどをしていた私は、牛のことを何も知りませんでした。こちらに来てからこれまでの間、本当に多くの方に助けていただきました。

移住を決める時、「自分は受け入れられるだろうか」という不安を多少なりと

も持つものです。でも、檜葉の方は「よその」にも関心を持ち、関わりようとしてくれます。人と人との距離が近く、それは温かさにつながっています。ほかの土地からきた私にとって、その温かさはとても心強いことでした。

檜葉の皆さんが「あたりまえ」と思っていることは、ほかの土地から来ると「あたりまえ」ではありません。すばらしい魅力です。また、自然が美しく、人が魅力的な檜葉町は、移住しやすい土地でもあります。

もし、より多くの移住者を迎えようとするのであれば、移住しようとする人の不安を拭いてあげられるような具体的な情報を発信することが大切だと感じます。また、世の中には「自然が豊かで、人情がある」場所はほかにもあります。その中から「ここ」と選択する決め手となるのは、やはり、将来を展望できる雇用や起業支援といった+αの部分だと思います。ちよつとした工夫があれば、檜葉はもっと多くの人が集まる可能性を秘めたすてきな場所だと思います。檜葉は、人がとても温かく、おもしろく、居心地のいい場所です。

なぜ檜葉に？そうですね、移住先を決める時、いくつかの条件はあったんです。海釣りが好きなので海が近いこと、雪が少ないこと、とかね。移住先を探して、妻と二人、ずいぶん車で見て回りました。初めての家の見に来たとき、古い家でしたが、そのたたずまい、周りの景観など、すべてが気に入りました。「自分が探していた移住先はここだ！」と強く感じました。

畑で野菜をつくったり日曜大工をしたり、毎日大好きなことをして暮らしています。ここには自分の好きなこと、豊かな自然、人のよさなど、私が大切にしたいこと、すべてがありました。都会で神経をすり減らして働いていた頃とは比べものにならない、充実した時間を過ごしています。川崎にいる子どもたちにも「生き生きしている」と言われますし、彼ら自身も、ここに遊びに来ることが大のお気に入りなのです。

お 小尾 明さん、トミ子さん

小尾さん夫妻が川崎市から檜葉にやってきたのは平成19年のこと。企業戦士として働きづめだった明さんには、長年「いつか田舎暮らしを」という夢がありました。好きなことをのんびり楽しむ暮らしを求めて、檜葉に移り住みました。妻のトミ子さんも明るく朗らかで、布草履の「わらじ組」の中心メンバーとして活躍するなど、今や檜葉になくてはならない人になっています。

田舎暮らしは私の夢でしたが、異を唱えもせず、ついて来てくれた妻には感謝です。土地に馴染み、ここの生活を私とともに楽しんでくれています。檜葉は縁もゆかりもないところだったのですが、実は深い縁があったのでしようね。檜葉に移住してきて十年余り経ちましたが、見ず知らずの私たちを温かく受け入れてくれた町の人たちへの感謝の気持ちは、今も忘れずにいます。



◎木屋・小六郎線自由通路整備事業

435,000 千円

開発により居住者が増えている竜田駅東側地区と、古くから竜田の玄関口として親しまれてきた西側地区。多くの方が行き来しやすいよう線路上に連絡通路を設置します。また駅の機能は JR が連絡通路内に橋上化します。東側には公共交通機関整備としてバスのロータリーが設置され、西側にはにぎわいを創出するため、町民の皆さんとワークショップを重ねています。



担当課：建設課

◎プレミアム付商品券販売事業

117,120 千円

プレミアム付商品券の販売を実施します。今年度は販売数を 21,000 セットに増やします。



担当課：新産業創造室

◎スポーツ推進事業

62,607 千円

今年度から発足した楢葉町スポーツ協会への事業委託料等です。毎年恒例の各種スポーツ振興事業のほか、スポーツコミッション事業（大会や宿泊などを誘致し、スポーツを地域活性化につなげる事業）などを計画しており、町民の皆さんがこれまで以上にスポーツに親しめる環境の土台を構築します。



担当課：教育総務課

◎医療施設等整備事業

68,094 千円

北田地区笑ふるタウン内のふたば復興診療所（ふたばリカーレ）西側に、公設の薬局を整備します。



担当課：住民福祉課

平成31年度当初予算規模

(単位：千円、%)

会 計 の 名 称	平成31年度当初	平成30年度当初	増 減	比 較
一 般 会 計	11,936,000	9,965,500	1,970,500	19.8
国民健康保険特別会計	1,427,128	1,549,626	△ 122,498	△ 7.9
下水道事業特別会計	523,221	469,279	53,942	11.5
住宅用地造成事業特別会計	990	133,653	△ 132,663	△ 99.3
介護保険特別会計	966,799	910,344	56,455	6.2
後期高齢者医療特別会計	31,737	32,761	△ 1,024	△ 3.1
合 計	14,885,875	13,061,163	1,824,712	14.0

平成31年度一般会計 119 億 3,600 万円

当初予算で 紐解く今年1年

今年度当初予算が町議会3月定例会において可決されました。新時代元年の楢葉町を予算の観点から展望してみます。

一般会計の総額は119億3,600万円で、昨年度に比べ、19億7,050万円の増額となりました。町の重点施策である農業と教育に関する事業の増額が主な要因です。今年度の当初予算はこれまでに引き続き、子どもたちの教育に重点を置き、再び多くの方が農業に取り組みやすい環境づくりを推進する配分となっています。

震災から8年、避難指示解除から3年半が経過しました。復興は、総仕上げの時期にさしかかっています。今年度も着実に施策を進め、町民の皆さんが「住みやすい」と感じることでできるまちづくりを行います。

農業

担当課：産業振興課

◎甘藷等施設整備事業

2,241,908 千円

農業再生に向けた、新たな作物として甘藷（サツマイモ）栽培を推進しています。平成30年度には13haを栽培し、今年度は30ha、来年度は50haと、徐々に栽培数を増やしていく計画で、今後の出荷に向け、出荷施設等の整備工事に着手します。



◎トマト栽培施設整備事業

690,432 千円

震災で被害を受けたトマト養液栽培施設（上繁岡）の再生を図ります。

教育

担当課：教育総務課

◎ICT教育事業

19,817 千円

パソコンやタブレットを用い、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。

◎キャリア教育事業費

6,772 千円

昨年度に引き続き、中学生が仮想企業を起こし、商品開発から販売実践までを生徒たち自身が行います。この特色ある事業は、昨年、マスコミでも大きく取り上げられ、売上金の一部を町内の福祉施設へ寄付するなど、生徒たちを大きく成長させました。



◎ロボット教育支援事業

4,466 千円

福島イノベーションコースト構想の動きに応じ、小学校5、6年生の希望者を対象としたロボット産業に関する学習を行います。



聖火が「J」からスタート！

東京2020オリンピック聖火リレーがJヴィレッジからスタートすることが決まりました。原発事故の対応拠点としての役割を終え、再びサッカーの聖地としてよみがえったJヴィレッジは、まさに「復興五輪」という理念にふさわしい場所です。

世界一の芝の上に厚い鉄板が敷かれていたJヴィレッジ。その現在の姿は、私たちに諦めないことの可能性を示して勇気をもたらし、再び大きな希望の光となっています。グラウンドオープンが4月20日(土)。同日にJヴィレッジ駅も開業され、イベントが開催されます。イベントの詳細は同封のチラシをご覧ください。さあ、20日はJヴィレッジへ行きましょう！



高速道路がより身近に

3月21日、ならはスマートICが完成し、開通式が行われました。ならはスマートICは、広野ICまで5.3km、常磐富岡ICまで11.1kmの位置にあります。

ICの完成により高速道路はさらに身近になり利便性が増すほか、渋滞緩和も期待されています。また、医療機関への救急搬送時間が短縮され、生活の安心や利便性にもつながるだけでなく、交流人口の拡大に大きな効果を生みそうです。



無事に帰ってきてね。

3月6日、こども園児と小学生が木戸川でサケの稚魚を放流しました。

木戸川漁業協同組合の松本秀夫組合長から「無事に帰れるサケはわずか0.5%」と聞いた子どもたちは、「元気に帰ってきてね」と一生懸命に声をかけながら小さな稚魚を放しました。過酷で壮大な長旅に出た稚魚は、4年後また木戸川へ戻り、秋の櫛葉を彩るでしょう。

サケの稚魚放流は、震災後、今年で4回目となり、今年は300万尾を放流する予定です。震災前の数にはまだ遠く及びませんが、木戸川漁協の取組みも一步一步前進しています。



絶対、無事に帰ってきてね

今年度の櫛葉町の主な予定

4月 ●4月6日 さくらまつり (天神岬スポーツ公園) ●4月13日 ならはスカイアリーナ落成式 (ならはスカイアリーナ) ●4月14日 大瀧神社浜下り (大瀧神社・まなび館ほか) ●4月16日 カントリーエレベーター・育苗センター落成式 (カントリーエレベーター)	 ●4月20日 Jヴィレッジ駅オープンセレモニー (Jヴィレッジ駅) ●4月21日 Jヴィレッジグランドオープン記念式典 (Jヴィレッジ) ●4月21日 消防団春季検閲式 (総合グラウンド) ●4月25日 道の駅ならはオープン	5月  ●5月25日 櫛葉南、北小学校運動会 (櫛葉中学校)
6月  ●6月2日 春のクリーンアップ作戦 (町内) ●6月16日 がんばっぺゴルフ大会 (いわき市内ゴルフコース) ●6月下旬 ここなら笑店街一周年記念イベント (ここなら笑店街) ●6月30日 パークゴルフ大会(町長杯) (広野町ニツ山運動公園)	7月  ●7月上旬 プレミアム付商品券販売開始 (櫛葉町コミュニティセンター) ●7月中旬 櫛葉町サマーフェスティバル (天神岬スポーツ公園) ●7月予定 参議院議員選挙	
8月  ●8月15日 盆野球大会 (総合グラウンド)	9月  ●9月2日～ 総合健診 (まなび館) ●9月18日 敬老会 (櫛葉町コミュニティセンター) ●9月28日 あおぞらこども園運動会 (あおぞらこども園) ●9月予定 パークゴルフ大会(議長杯) (広野町ニツ山運動公園)	
10月 ●10月6日 秋のクリーンアップ作戦 (町内) ●10月12日 櫛葉南、北小学校学習発表会 (櫛葉中学校) ●10月26日 櫛葉中学校ゆずり葉祭(櫛葉中学校) ●10月中旬 消防団秋季検閲式(総合グラウンド) ●10月予定 福島県議会議員選挙	11月  ●11月2日 秋空散策あるこう会 (天神岬スポーツ公園～町内)	●11月9日 ならSUNフェス(収穫祭) (ならはCANvas) ●11月17日 ふくしま駅伝 (白河市～福島市) ●11月頃 町政懇談会 (ならはCANvas)
12月  ●12月中旬 ウィンターイルミネーション点灯 (天神岬スポーツ公園)	1月 ●1月12日 成人式 (櫛葉町コミュニティセンター) ●1月中旬 消防団出初式 (櫛葉まなび館) ●1月中旬 新春交歓会 (Jヴィレッジ) ●1月予定 Jヴィレッジハーフマラソン (Jヴィレッジスタート・ゴール)	3月  ●3月26日 東京五輪・パラ五輪聖火リレースタート (Jヴィレッジ)

※現時点での予定であり、変更の可能性があります。

あれから8年

3月11日、町保健福祉会館で開催した平成30年度東日本大震災津波犠牲者追悼式には、今年もご遺族をはじめ多くの方が参列されました。震災が発生した午後2時46分には、町内でも一斉に黙とうを捧げました。あの日の不安と恐怖はつらい体験ですが、忘れてはならない記憶でもあります。行方不明者を含む13人の犠牲者と、そのご遺族に改めて哀悼の意を表します。

一方、同じ日、政府が主催した追悼式（東京、国立劇場）には、高原カネ子さん（山田岡）が被災者代表として登壇し、その想いを述べました。避難中に、ある少年から藍の種を贈られたエピソードをあげ、全国の皆さんにこれまでの支援への感謝を伝え、復興へ向けてさらに歩み続けることを約束しました。



新しい消防車両を配備

2月27日、町消防団第4分団第2部の消防車両を更新し、町長から同分団へ引き渡されました。これまでの車両は、地域の安全を守って25年間働きました。

新車両は、移動可能な消防用ポンプを積載しているため、住宅火災はもちろん、山林火災や大規模火災時にも能力を存分に発揮します。



巣立ちの春。

【中学校】

3月13日、榎葉中学校で卒業式が行われ、大粒の涙を流しながら学び舎を巣立ちました。

震災当時、小学3年生だった今年の卒業生は17人。キャリア教育など、さまざまな場面で活躍し、町の復興にも大きく貢献してくれた頼もしい生徒たちです。一人一人がかけがえのない仲間であり、全生徒と教職員が固い絆で結ばれていました。

榎葉中学校で培った経験を糧に、4月から始まる新たなステージでも輝き続けてください。



やりきった中学校生活

黒板に残されたメッセージ

みんな3年間
ありがとう。
楽しかった。
あゆむ



タイムカプセル! 8年後が楽しみ!

ありがとうございました。

【小学校】

3月22日は、南小学校3人、北小学校8人の計11人の小学卒業式が行われました。

卒業を目前にした11人は、3月5日、天神岬にタイムカプセルを埋めました。カプセルには、8年後の自分に宛てた手紙と思いの出の品が収められています。タイムカプセルは児童の皆さんが成人式を迎えた時に開封されます。

どんな大人に成長して、12歳の自分に再会するのでしょうか。夢に向かってすすきな中学生になってください。

ご卒業おめでとうございます。

災害時における物資を確保

2月26日、町は「災害時における物資供給に関する協定」を、コメリ災害対策センター、(株)ネモト、セブンイレブン榎葉下小増店と締結しました。常時から一人一人が災害に備えておくことが最も重要ですが、この協定では、災害の発生時、避難した方の食料や、災害対応に必要な資機材を円滑に確保する体制を定めています。

自然の脅威は時に予想し得ない規模で降りかかてきます。高齢者などの災害弱者に対する支援など、今後も住民の生命と財産を守るため最善を尽くします。



地域の活性化を熱く

(一社)ならはみらいを事務局として「榎葉町地域活性化協議会」が13団体で組織されています。各団体の課題や現状を共有しながら、月に1回、町の活性化について検討しています。広報紙に同封しているA3版のカラフルな毎月のカレンダーは、同協議会が情報を共有することによって作成されているものです。

町内の主要な団体が一堂に集って検討することは、互いに連携し組織的な活動につながりやすく、町の復興に大きく貢献しています。



卒園おめでとう!

3月16日、14人の卒園児が笑顔であおぞらこども園を巣立っていきました。その中には、仮設園舎から6年間、通園していた園児もいます。

春の遠足、夏のプール遊び、秋の運動会、冬の生活発表会。楽しい思い出がいっぱいあります。こども園での生活の中、園児は心も体も大きく成長しました。

いよいよ小学生!!ランドセルに夢をいっぱい詰め、頑張ってください。



キャリア教育、有終の美

昨年度、キャリア教育の一環として、中学生が模擬会社「Narays ゆずスマイル榎葉」を設立しました。地域企業の協力を受けるながら、中学生自身が魅力ある商品を開発し、その販売までを行ったもので、この取組みの事業報告と決算発表が2月26日、役場庁舎で行われました。

開発した商品は、ユズの香りがするハンドソープ「ゆーティフル」やアロマキャンドル「ゆずりら」など計5点。2000点を超える数を作り、約90万円を売り上げ、収益の一部は町内の福祉施設に寄付されました。

中学生はキャリア教育を通して、さらにたくましく成長し、表情や声には輝くような自信が表れていました。



木戸川復活へー細心のふ化作業



鈴木謙太郎さん(木戸川漁協)

8月号から木戸川の魅力を連載してきましたが、今月で最終回です。今回は、木戸川が再び日本一のサケの川となるのに重要な、ふ化作業(採捕から放流まで)についてお話しします。

極意は、慎重かつ丁寧

ふ化作業のスタートは、まず捕れたてのサケをオス・メスに選別し、水槽車に活かしてふ化場に運ぶことです。水槽車に入れる時、注意すべきことは丁寧に扱うことです。威勢よく暴れるサケを落としてしまったり、投げ入れたりして雑に扱うと、特にメスはお腹の卵をいためるなど、受精に大きな影響をあたえてしまいます。また、水槽車に数を入れます。



【写真①】メスの採卵作業

ぎると酸欠状態となり、大きなストレスになります。受精率や成長段階に悪影響を生じるので注意が必要です。このように、ふ化場に運ぶだ

けでも漁労長はじめ漁師さんたちの理解と協力がすごく大切なのです。
次に、池で畜養(成熟するまで飼育すること)します。

オスはふ化場内の池の蓄養池に運び入れ、メスは外池の4、5池の蓄養池に、成熟・未成熟を1尾ずつ選別して蓄養します。そして、成熟した順に10尾分ずつ受卵盆(大きな器)に採卵します【写真①】。この時、暴れないようにメスの頭を棒で叩きます。メスのお腹の中には約2500粒の卵(イクラ)が入っていて、多いものだと4000粒ほど入っています。

慎重な(?)自分は保険をかけて、いつもプラス2尾使用しています。

卵と精子を混ぜ合わせたら血合いなどを取り除き、水につけます。すると精子はやおら活発に動きだし、卵の卵門から入り受精は完了します【写真③】。こうして一つ一つの大切な命が誕生するのです。ちょうどだけ神様になった気分になります(笑)。自然産卵では受精率が約30%といわれていますが、このような人工授精では90%以上が受精できます。鈴木さんのように腕が良ければ、ですが(笑)。

「積算温度」

受精から約8時間後には細胞分裂が始まり、その後は卵が非常に弱くなるので、その前に室内の「ふ化槽」に移します。ここからは毎日、井戸水を混ぜ合わせながら水温を10℃前後に保ち、「積算温度」で卵から稚魚までの成長

段階を管理します。積算温度とは、例えば毎日水温が10℃であれば24日で積算温度約240℃となります。サケは240℃に達すると発眼します。発眼すると卵も刺激に強くなるので、この時期に、死卵(白色)を赤外線センサーで選別する「検卵機」という便利な機械を使い、赤色の良卵だけをふ化槽に戻します【写真④】。昔は5、6人がかりで死卵を一粒一粒ピンセットで取っていたそうです。何千万粒もですよ、無理(笑)。
さて、次に外池に設置してある「浮上槽」に運びます。この浮上槽で積算温度約480℃(48日)になるとふ化(仔魚)といえます。ふ化後、さい囊(お腹にかかえた袋状のもの)の中のお母さんからもらった栄養素を吸収しながら、稚魚に成長するまで安静にし、約850℃(85日)になると浮上し泳ぎだし、さらに約1000℃(100日)でお腹の栄養をすべて使いきり「稚魚」となります。



【写真③】受精、一つ一つの命ができる神聖な瞬間

次は餌付けです。浮上槽から各池に移し、サケ専用のエサ(粒状)を稚魚の成長とともに餌付けします。この餌付けのタイミングも重要で、早すぎると死んでしまい、遅すぎてもやせ細ったピンヘッド(落ちこぼれ)が増え大量死してしまいます。やり方次第ではピンヘッドが増えてしまったり、水質悪化でエラ病などの原因にもつながったり、餌も無駄になります。健苗な稚魚を多く育てるって実は簡単ではないんですよ！
積算温度約1200℃

(120日)になると約5cm、0.9gの立派な稚魚に育ち、木戸川では3月下旬頃成長した順に放流します。そして沿岸で体力をつけた稚魚たちは、4月から5月にかけて、今

度は自分たちの力で大海原に旅立つのです。感動の瞬間ですね(涙)...

また会いましょう！

というわけで今回が最終回！...って、しまった！サケの話だけで終わっちゃった(汗)。。。またいつの日かお話しさせていただける日が来れば、ほかにまだまだたくさん木戸川の魅力、そして忘れちゃいけない井出川の魅力をお話ししたいな。

皆さん、最後までサケの話だけでご愛読、本当にありがとうございます(笑)。日本一を目指して、ふ化の技術を磨き続けます。いや、やっぱり僕、木戸川のサケが大好きです!!



【写真②】卵に精子をかける作業 意外とアナログな...





このコーナーもいよいよ最終回となりました。「幸福な老い」についてさまざまな角度から考えてきましたが、皆さん、いかがでしたか？
私自身にとっても、「老い」について改めて考える機会になりました。回を追うごとに、「年を重ねることは悪いことばかりじゃない」と前向きな気持ちを持てるようになりました。

瀬谷介護保険係長 ▶

日本は世界一高齢化が進んでいる国とされ、あちらこちらからこんな声が聞こえてきます。「高齢化が進んで大変だ」「子どもたちが少なくて高齢者を支えきれない」「介護保険料が財政を圧迫する」などなど…。これでは高齢化社会を悲観的に捉えている印象を受けますよね。まるで高齢者が多くなることが負担ばかりを生んでいるかのように。

もちろん、少子高齢化が抱える課題は軽視できませんが、こうした悲観的な風潮の中では私たちは前向きに年を重ねることができません。だれにでも訪れる「老い」は、豊かな価値あるものでなければ！

さて、皆さんご存知の『論語』にはたくさんのお名言がありますよね。「子曰く、吾れ十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲するところに従えども、矩をこえず」とあります。とても有名ですね。

「孔子先生はおっしゃった。『わたしは十五歳で学問に志し、三十になって独立した立場を持ち、四十になってあれこれと迷わず、五十になって天命をわきまえ、六十になって人の言葉が素直に聞かれ、七十になると思うままにふるまっても、それで道を外れないようになった』と。つまり、老いていく過程を成熟の過程として価値があるとおっしゃっているのです。

にとつては「役に立った」と幸福を感じる場面でもありません。老いるということは、自ら成熟することであり、支えてくれる相手には幸福感を与えるものです。老いは、まさに次世代への身をもった教育なのです。

さあ、自信をもって堂々と、豊かに年を重ねてまいりましょう！

幸福な老いの町、榎葉町！

◀ 地域包括支援センター職員 江尻さん

ご愛読
ありがとうございました！
楽しく堂々と
老いてまいりましょう



足もとに未来をみつめて

第11回

きみは「榎葉氏」を知っているか？

榎葉町歴史資料館

榎葉町民なら知っておきたい歴史上の人物といえ、榎葉太郎隆祐（ならはたろうたかすけ）“でしようか。ところが、この榎葉氏（ならはうじ）、現在、町内には「榎葉さんはいませんし、多くの学者が説明を試みながら、史料が少ないため、謎の多いミステリアスな一族です。（蛇足ですが、いわき市や相馬市には「榎葉さん」がお住まいです。）今月は、榎葉氏の、その盛衰の物語です。

榎葉氏のはじまり



② 初代榎葉太郎隆祐が勧請したといわれる
木戸八幡神社

榎葉氏と鎌倉時代

小太郎成衡の5人の子供たちが、磐城五郡を与えられ、長男の隆祐が榎葉領を分封されたといわれますが、定かではありません。

名字となった地名のことを「本貫地（ほんがんち）」といいます。同じ氏族ばかりだと混乱するので、住む土地で区別したといわれています。今でも、同じ名字が多い地域では、地名や屋号で呼びますが、榎葉氏も、もともと「榎葉」に住んでいた豪族であると考えられています。同じように、岩城氏（いわきうじ）や今の双葉町や

乱 世を懸命に生きた榎葉氏

榎葉氏は、応仁の乱後の文明六年（1474年）に滅びました。小さな地方領主であり、結果だけみれば負けなのですが、鎌倉時代が領主間で共存を図っていたように、室町時代に入っても、地域が連携して困難に立ち向かっていた。有名な五郡一揆契状（ごぐんいつきけいじょう。五郡とは、行方・標葉・榎葉・岩城・岩崎）には、幕府統治が不安定なことに悩んだ地元有力者が、団結し相



④ 榎葉城出土中国製陶磁器（戦国時代）

互協力することが書かれていて、その盟主が榎葉氏だったのでないかと分析する研究者もいます。私たちは普段、関ヶ原の戦いを振り返る時、徳川家康が勝ったという結果を知っているので、「歴史の流れは変えられない」と思いがちです。しかし、それは、懸命に生きた先人に対して、不誠実な見方です。結果がわからないからこそ、人はさまざま悩み、苦しみます。榎葉氏の歴史からも同じことが学びとれます。勝ち負けだけにとらわれず、先人の苦労や思いをくみとり、「いまを誠実に生きる」ことが、歴史から学ぶ意義のひとつといえるでしょう。



① 中世榎葉氏のおもかげを偲ばせる「榎葉城」本丸跡

12月号の「榎葉はいつから榎葉？」でも紹介しましたが、平安時代の書物に「榎葉郷」と掲載されているのが、榎葉の最初です。推測ですが、平安時代よりもずっと前から、「榎葉」という地名自体は存在したはず。そもそも、自分たちが住む土地を「榎葉」と認識して生活する人々がいないければ、榎葉郷と名づけることはありません。そして、「榎葉」の土地に住む者の代表者が、榎葉氏といわれていて、平安時代末期頃から勢力を拡大したと考えられています。一説には、奥州藤原氏ゆかりの徳姫の夫、海道



③ 海道五郡一揆契状（傘連判の右下に大きく榎葉氏の花押と署名が確認できる）

町で実施した自家消費食品等の放射能簡易検査結果

2月1日から2月28日までに農林水産物処理加工施設で実施した食品等の放射能検査結果の集計となります。

食品分類(基準値)	8検体中、基準値超件数 2 食品名(基準値超件数／検体数)最小値～最大値(Bq/kg)				
山菜(100) (0/1)	フキノトウ (0/1) ND				
野菜(100) (0/1)	コマツナ (0/1) 25.08				
水類(10) (0/0)					
その他(100) (2/6)	キジ肉 (0/1) ND	猪肉 (2/4) 25.62～ 577.15	蜂蜜 (0/1) ND		

※区分は県の区分に従いました。**色字**は検査した食品のうち**国の基準を超えた検体数**です。
※国の基準(平成24年4月1日施行)は、一般食品で1キログラムあたり100ベクレル、飲料水で10ベクレル、牛乳や乳児用食品は、50ベクレルです。
※依頼された検査品の最小値と最大値を記載しています。
※「ND」は「Not Detected」の略です。「不検出」の意味で、検出限界以下であることを示す場合に用います。
※従来の詳細な測定値の表は、ホームページで随時公開していきます。

■お問い合わせ先：産業振興課 ☎0240-23-6104 自家消費食品等簡易測定所 ☎0240-23-6557

檜葉町公共施設等モニタリング調査実施結果(3月実施分)

- 1** 調査期間 平成31年3月1日(金)
2 測定器 NaIシンチレーションサーベイメータ(空間放射線量率測定用サーベイメータ)を使用
3 測定方法 地表面から高さ1m及び高さ1cmの空間線量率を測定(くらし安全対策課職員が実施)。
測定器を水平に保ち、約30秒ほど経過させて測定値が安定したことを確認し、10秒ごとに測定値を5回読み取り、その平均値を記載する(県指定測定方法に基づき実施)
4 測定結果

測定箇所		測定値(μSv/h)	
		地上1.0m	地上1.0cm
		今月測定値	今月測定値
下井出地区集会所	(駐車場)	0.13	0.13
しおかぜ荘	(玄関前)	0.12	0.13
天神岬スポーツ公園内	(オートキャンプ場)	0.09	0.09
天神岬スポーツ公園内	(芝生)	0.07	0.07
こども園	(園門)	0.17	0.13
北田地区集会所	(駐車場)	0.10	0.12
木戸川漁協	(玄関前)	0.09	0.08
前原地区集会所	(駐車場)	0.09	0.10
山田浜地区集会所	(駐車場)	0.09	0.10
山田岡地区集会所	(駐車場)	0.10	0.10
木戸駅	(入口前)	0.10	0.10

測定箇所		測定値(μSv/h)	
		地上1.0m	地上1.0cm
		今月測定値	今月測定値
檜葉南小学校	(校門)	0.10	0.10
下小嶋地区集会所	(駐車場)	0.12	0.13
佐野地区集会所	(駐車場)	0.10	0.10
後沢地区集会所	(駐車場)	0.12	0.13
名古屋地区集会所	(駐車場)	0.10	0.11
大坂地区集会所	(駐車場)	0.15	0.16
椴木下地区集会所	(駐車場)	0.17	0.16
女平地区集会所	(駐車場)	0.12	0.12
木戸ダム	(中央公園駐車場)	0.11	0.13
乙次郎地区集会所	(駐車場)	0.14	0.13
上小嶋地区集会所	(駐車場)	0.14	0.15

※全測定結果は、ホームページから閲覧することができます。
※平成29年5月調査より、測定箇所を概ね北部と南部に分けて2か月に1度の測定に変更しました。3月は南部の測定結果を掲載します。

■お問い合わせ先：くらし安全対策課 放射線対策係 ☎0240-23-6109

◆浄水場見学のご案内

双葉地方水道企業団では、水道水の安全・安心を再確認していただくことを目的に、浄水場の見학을随時受け付けています。ご家族やお友達同士、学校・企業など、どのようなグループでもOKです!まずは、お電話でご相談ください。

見学のご相談・お申し込みは
双葉地方水道企業団 総務課総務係
☎0240-25-5315まで

檜葉町内居住者集計表(H31.2.28現在)

【住民基本台帳人口】

世帯数	男	女	人口(外国人含む)
2,941	3,514	3,432	6,946

【町内居住者】

行政区	世帯数	人数	行政区	世帯数	人数
上井出	254	485	上小嶋	84	182
下井出	189	250	下小嶋	199	479
北田	322	646	山田岡	248	505
大谷	77	183	前原	38	78
松館	35	79	山田浜	38	90
上繁岡	57	120	椴木下	1	4
旭ヶ丘	0	0	女平	15	31
繁岡	87	131	大坂	8	23
下繁岡	82	152	小計	631	1,392
波倉	16	32	合計	1,847	3,657
営団	95	184			
乙次郎	2	3	町内居住率	世帯	人
小計	1,216	2,265		62.80%	52.65%

【町内居住者年代別集計表】

	人数		人数
0～4歳	132	60～64歳	342
5～9歳	62	65～69歳	403
10～14歳	67	70～74歳	278
15～19歳	107	75～79歳	262
20～24歳	147	80～84歳	209
25～29歳	166	85～89歳	154
30～34歳	163	90～94歳	67
35～39歳	158	95～99歳	23
40～44歳	186	100～104歳	4
45～49歳	194	合計	3,657
50～54歳	216		
55～59歳	317		

檜葉町内居住者について
① 町内居住者数／当月末の町内に居住する者の数
② 町内居住率 / 当月末の住民基本台帳人口に対する町内居住者数の割合
町内居住率(%) = $\frac{\text{町内居住者数}}{\text{住民基本台帳人口(月末)}}$

檜葉町仮設焼却施設における廃棄物処理状況(環境省からのお知らせ)

1 廃棄物処理状況 【平成31年2月末時点】

- (1) 仮設焼却施設処理
総処理量 77,888t
※総処理量には、埋却牛468頭を含む。
- (2) 除染仮置場からの搬出状況
※ 除染仮置場からの可燃性除染廃棄物の搬出は終了しました。

2 各種モニタリング結果について

- (1) 焼却灰
- | | 放射性物質濃度(Bq/kg) | 総発生量 |
|----|----------------|----------|
| 主灰 | 1,800～71,000※1 | 約11,868t |
| 飛灰 | 2,100～83,000※1 | 約4,073t |
- (2) 放射性物質濃度測定結果
- | モニタリング項目 | 測定日 | 測定結果 | 単位 |
|----------|-------|-------------------|-----------|
| 排ガス | 2月14日 | ¹³⁴ Cs | ND(0.8)※2 |
| | | ¹³⁷ Cs | ND(0.8)※2 |
| 地下水(下流) | 2月11日 | ¹³⁴ Cs | ND(1.1)※2 |
| | | ¹³⁷ Cs | ND(1.2)※2 |
- (3) 空間線量率測定結果
- | | 仮設焼却施設入口 | 仮設焼却施設管理棟前 | 仮設灰保管施設東側 | 単位 |
|-----------------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| 施設稼働前(H28.10.1～10.22) | 0.130～0.139 | 0.132～0.153 | 0.175～0.183 | μSv/h |
| 施設稼働後(H31.2.1～2.28) | 0.094～0.113 | 0.126～0.149 | 0.149～0.166 | μSv/h |
- ※1: 放射性物質濃度は焼却開始からの累計です。
※2: NDとは検出下限値[()内の数値]未満を意味します。

■お問い合わせ先：環境省 福島地方環境事務所 減容化施設整備課 ☎024-563-6954

水道水中における放射性物質のモニタリング結果

- 採水場所: 小山浄水場
■水 源: 木戸川(ダム放流水)
■採水年月日: 平成31年2月1日～28日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

※いずれの検体も、2月28日時点で放射性物質は不検出です。
※「ND」とは、一定の条件で測定機器が検出できる最小値(1Bq/kg)未満であることを示しています。

- 採水場所: 北林配水池
■水 源: 寺下・中川原水源池(浅井戸・伏流水)
■採水年月日: 平成31年2月1日～28日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

測定機関: 双葉地方水道企業団
分析装置: ゲルマニウム半導体検出器 / 検査頻度: 毎日
測定方法: 水道水等の放射能測定マニュアル(厚生労働省)

※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。

《参考》検査日現在の目標値 (単位: Bq/kg)			
	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
食品衛生法の規定に基づく新たな基準による目標値	—		10

女性のがん(子宮頸がん・乳がん)検診意向調査

福島県内にお住まいの20歳以上の女性に、「女性のがん検診意向調査」を送付しました。**4月19日(金)までに**必要事項を記入の上、返送してください。意向調査が提出されないと、検診を受診できないことがあります。なお、意向調査票に記載されている住所が、現在お住まいの住所と異なる場合は、必ず新しい住所を記入してご返送ください。

※福島県外にお住まいの方には、夏頃に日本予防医学協会からお知らせが送付される予定です。

あなたと、あなたの大切な人のために、定期的ながん検診を受けましょう。

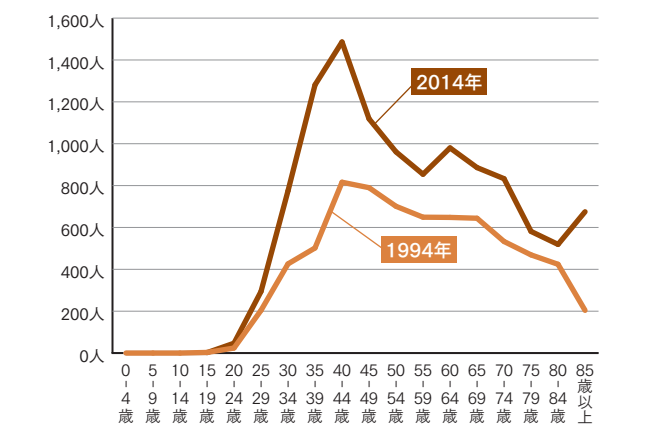


子宮頸がん

近年、20代、30代の子宮頸がん患者が急増しています。子宮頸がんは、性交渉で人から人へ感染するヒトパピローマウィルス(HPV)が発症の主な原因で、性交経験者であれば、だれでも発症するリスクがあります。初期の段階ではほぼ自覚症状がなく、進行してから不正出血などの症状があらわれますので、検診で早期に異常を発見することが重要です。

日本では、年間約17,000人が子宮頸がんになり、約2,500人が亡くなっています。

子宮頸がんと診断された方の推移(人口10万人対)



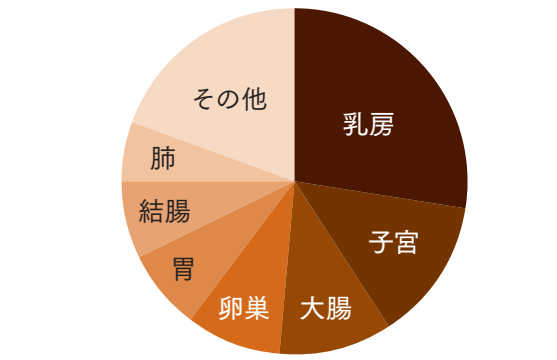
独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報サービス最新がん統計より

乳がん

乳がんは40代女性のがん死亡率の第1位です。ここ10数年間で急速に広がり、近年では日本人女性の16人に1人は乳がんになると言われ、毎年、1万人以上が命を落としています。特に、40代、50代が乳がんにかかりやすい年齢です。

乳がんは、早期のうちに治療すれば約98%治る病気ですが、自覚症状がほとんどありません。気づかずにそのままにしておくと、がんの増殖がすすみ、血液やリンパにのってがん細胞が全身に広がっていきます。早期で発見するためには2年に1度、検診を受けることが大切です。

40代女性の部位別がん死亡数割合



独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報サービス最新がん統計より

●お問い合わせ先／住民福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102

小学校入学1年前～小学校卒業までに受ける予防接種

定期予防接種は、種類ごとに対象年齢や接種回数が定められています。定められた期間・年齢を過ぎると有料となりますので、お子さんの母子健康手帳を確認し、受け忘れのないようにしましょう。



予防接種の種類	対象者	
MR(麻しん・風しん)2期	小学校入学前1年間	お知らせのハガキを送付しました。お手元に予診票がない方はお問い合わせください。
日本脳炎2期	9歳以上13歳未満	小学校4年生のお子さんへ予診票を送付しました。
DT(ジフテリア・破傷風)	11歳以上13歳未満	小学校6年生のお子さんへ予診票を送付しました。

※県外にお住まいの方は、お住まいの自治体の予防接種担当部署へ相談してください。

●お問い合わせ先／住民福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102

檜葉町子育て世代包括支援センターを開設 妊娠から子育て期までをトータルサポート!

4月から、住民福祉課内に檜葉町子育て世代包括支援センターを開設しました。妊娠・出産・子育てに関するさまざまな相談に応じ、妊娠期から子育て期まで、いつも安心して子育てができるよう、切れ目のないサポートを行います。

- ### 具体的な役割
- 母子健康手帳交付時に妊婦さんとの面談を行い、妊娠・出産・子育てに関する疑問や質問、相談に応じます。
 - 必要に応じて一人一人の状況に寄り添った「支援プラン」を作成し、妊娠期から子育て期にわたる必要なサポートをコーディネートします。
 - 医療機関や子育て機関と連携して、切れ目のないサポートを行います。



●お問い合わせ先／住民福祉課 ☎0240-23-6102

檜葉ならではの 健幸チャレンジ事業



町民の皆さんが楽しみながら積極的に健康づくりに取り組むためのきっかけとして、『檜葉ならではの健幸チャレンジ事業』を実施しています。

毎日の健康行動、健康診断やがん検診、ボランティア活動やイベント参加について、記録するだけでポイントがたまるしくみです。ポイントをためると、県内の協力店で使える「ふくしま健民カード」を取得できるほか、町からの“ささやかな”プレゼントもお贈りします。

皆さんの健幸づくりを応援するための、新しいスタイルの取り組みです。「健康」と「お得」を獲得して、健やかな毎日を過ごしましょう!

【対象者】
●18歳以上の町民(高校生を除く) ●町内の事業所にお勤めの方

●お問い合わせ先／住民福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102

医療保険は途切れなく!

日本は、国民皆保険制度の国です。民間の生命保険や医療保険に加入していても、経済的な負担を軽減し、安心して治療が受けられるよう、すべての国民が必ずいずれかの公的医療保険に加入することになっています。

市町村が運営する国民健康保険は、会社などの健康保険(協会けんぽ、共済組合、健康保険組合)や後期高齢医療制度に加入している方、及び生活保護を受給している方以外が加入する制度です。

退職や転職をすると健康保険が変わります。資格が途切れてしまう期間が生じないよう、忘れずに手続きをしてください。公的医療保険のうち、国民健康保険・後期高齢者医療保険に関しては住民福祉課へ、その他の健康保険に関してはお勤め先等が問い合わせ窓口となります。

●お問い合わせ先／
住民福祉課 国保年金係 ☎0240-23-6102

町内おでかけタクシー、お買い物バス

今年度も引き続き実施します。ぜひご利用ください。

町内おでかけタクシー

檜葉町に住所のある65歳以上の方などを対象に、町内1回300円で利用できます。利用する際に必要な助成証は、復興推進課窓口ですぐに発行できます。

お買い物バス

集会所などから笑ふるタウンの商業施設まで送迎します。利便性向上のため、4月から巡回ルート・時間に変更になりましたのでご注意ください。詳細については同封のチラシをご覧ください。
※プチチェーンでは電話等での注文によるほか、店頭で購入されたものを自宅まで配送するサービスも行っていますので、ご利用ください。

●お問い合わせ先／復興推進課 ☎0240-23-6103

祝日・休日の家庭ごみ受入日

平日に加え、次の日程で南部衛生センターに家庭ごみを持ち込むことができます。



受入日		
4月29日(月)昭和の日	8月12日(月)山の日振替休日	12月15日(日)
5月 6日(月)こどもの日振替休日	9月16日(月)敬老の日	1月13日(月)成人の日
6月16日(日)	10月14日(月)体育の日	2月24日(月)天皇誕生日振替休日
7月15日(月)海の日	11月 4日(月)文化の日振替休日	3月20日(金)春分の日

時間は全日午前8:30～午前11時30分 ※事業者のごみの搬入はできません。

●お問い合わせ先／南部衛生センター 総務係 ☎0240-25-4609

窓口インフォメーション Vol.2 一転出・転入の手続き

春は新生活のシーズンです。引っ越しをして住所が新しくなる方の多い時期です。そこで今回は、住所が変わったときに必要な「転出・転入の手続き」についてご案内します。住所を移すには、**転出**と**転入**、2つのステップが必要です。

ステップ1 転出

- まず、役場に「転出届」を提出します。手続きは役場窓口、もしくは郵送でも可能です。
【郵送の場合】
(1)申請書を檜葉町ホームページからダウンロードします。ダウンロードできない場合は任意の用紙に次の項目をご記入ください。
(1)檜葉町の住所 (2)転出する方全員の氏名 (3)電話番号 (4)新しい住所
(5)新しい住所に住み始めた日付 (6)新しい住所の世帯主
(2)申請者の身分証(免許証等)のコピー、返信用封筒(切手を貼り宛名を書いたもの)を同封のうえ住民福祉課戸籍住民係までお送りください。
- 転出届を提出すると「転出証明書」が発行されます。

ステップ2 転入

引っ越し先の役所で「転入届」を記入し、「転出証明書」を添えて提出してください。転入の手続きは郵送ではできませんので、本人が直接窓口で行います。代理人が手続きを行う場合は委任状が必要です。

●お問い合わせ先／住民福祉課 戸籍住民係 ☎0240-23-6102

補助金等の申請期限延長

檜葉町生活再建完了給付金と檜葉町帰還支援事業補助金の申請期限を来年3月末まで延長します。まだ申請がお済みでない方は、お早めに申請してください。

- 檜葉町生活再建完了給付金**は、震災時に檜葉町に住民票があった世帯が応急仮設住宅等を退去した場合に対象となります。
- 檜葉町帰還支援事業補助金**は、応急仮設住宅等に2年を超えて避難していた世帯が、檜葉町に帰還して生活されている場合に対象となります。

●お問い合わせ先／
くらし安全対策課 ☎0240-23-6109

平成31年度檜葉町帰還農業者支援事業(第1次申請期間)

檜葉町内で営農を再開するために必要な、農業用機械や農業用ハウスの導入費用を助成する町独自の補助事業です。

第1次申請期限

5月10日(金)まで

補助対象者

町内に農地を所有する農業者で町内において農業経営を再開する意思があり、年間農業従事日数が150日以上となることが確実な農業者、または農業者の組織する団体等

補助対象経費及び補助率

- ①業用機械購入費(営農に必要な管理機、肥料散布機等)
総額が50万円以内の事業に対し、4分の3
- ②ビニールハウス購入費(ビニールハウス、設置費や修繕費含む)
総額が50万円以内の事業に対し、4分の3
＜例＞(農業用機械総額50万円以内×補助率3/4)+(ビニールハウス総額50万円以内×補助率3/4)=補助金75万円
※補助対象の農業用機械とは、耕作する田畑の中で使用する機械です。
※草刈り機等は補助対象外です。

その他

- 本事業申請は農業経営世帯1回限りですので、すでに本事業を活用された方は対象外となります。
- あらかじめ補助要件等の説明や営農再開等に係る意向確認をさせていただきますので、申請をお考えの際にはお手数ですが下記の窓口までお越し願います。

●お申込み・お問い合わせ先／
産業振興課 ☎0240-23-6104

国民健康保険証、届きましたか？

国民健康保険の保険証の定期更新のため、4月1日からお使いいただく保険証を、3月下旬に簡易書留で、被保険者のいる世帯の世帯主宛てに送付しました。医療機関をご利用の際は、必ず新しい保険証をご提示ください。まだお手元に届かない場合はお問い合わせください。

●お問い合わせ先／住民福祉課 国保年金係 ☎0240-23-6102

檜葉町奨学資金制度について

檜葉町に住所があり、経済的理由により修学困難と認められる方に、奨学資金を貸与します。なお、本制度は無利息です。

①貸与を受ける条件

- 高等学校、専修学校高等課程、専修学校専門課程、高等専門学校、短期大学若しくは大学に在学している方
- その家族が町内に引続き1年以上住所を有し、永住の見込みがある方
- 経済的理由により就学が困難と認められる方(本人の属する世帯の総所得金額による審査があります)
- 国・県または他の団体から同種類の奨学資金の貸与、または給与を受けていない方

②貸与額について

- 高等学校……………月額20,000円以内
- 専修学校(高等課程)……………月額20,000円以内
- 専修学校(専門課程)……………月額30,000円以内
- 高等専門学校(国立)……………月額30,000円以内
- 短期大学……………月額50,000円以内
- 大学・大学院……………月額50,000円以内

③貸与の期間

在学する学校の正規の修業期間

④手続きについて

- (1)奨学生願書(様式1号)
- (2)奨学生推薦調書(様式2号)
- (3)奨学資金貸与希望額申請書
- (4)合格通知書の写し(または在学証明書の原本)
- (5)所得証明書(世帯全員分)

※教育総務課に様式がありますので、お問い合わせください。また、町公式ホームページからダウンロードすることができます。

●お問い合わせ先／教育総務課 ☎0240-23-6190

ならはカレンダー(平成31年4月) APRIL.2019

日	月	火	水	木	金	土
31 	1	2	3	4	5 広報ならは 4月号発行 小学校入学式 9:30 中学校入学式 10:40	6 こども園入園式 10:00
	ペット・ブラ	可燃		ピン	可燃	
7	8 岩倉先生のこころの相談 (保健福祉会館) 10:00~14:00 要予約	9	10 元気アップ教室 (サロンふらっと) 13:30~15:00 合気道教室 (武道館) 18:00~20:00	11	12 可燃	13 投げ餅あり! ならはスカイアリーナ 落成式・内覧会
	ペット・ブラ	可燃				
14 大瀧神社浜下り	15 もろもろ塾 (サロンふらっと) 10:00~14:00 要予約	16 カントリーエレベーター・ 育苗センター完成式 (カントリーエレベーター) 10:00	17 タブレット講習会・相談会 (交流館) 9:30~11:30 13:30~15:30 元気アップ教室 (サロンふらっと) 13:30~15:00 合気道教室 (武道館) 18:00~20:00	18 住民税の再申告 ~20日まで	19 可燃	20 Jヴィレッジ駅 オープンセレモニー Jヴィレッジ グランドオープン記念式典 こども園 春の親子遠足
	ペット・ブラ	可燃		不燃・カン		
21 消防団春季検閲式 (総合グラウンド) 10:00	22 岩倉先生のこころの相談 (保健福祉会館) 10:00~14:00 要予約	23	24 元気アップ教室 (サロンふらっと) 13:30~15:00 合気道教室 (武道館) 18:00~20:00	25 道の駅ならは 再開 (温泉・レストラン)	26 広報ならは 5月号発行	27
	ペット・ブラ	可燃			可燃	
28	29 昭和の日 家庭ごみ受入日 (南部衛生センター) 8:30~11:30	30 国民の休日	5月1 即位の日	2 国民の休日	3 憲法記念日	4 みどりの日
	ペット・ブラ	可燃			可燃	
ゴールデンウィーク中は役場も閉庁し、日直対応となります。(☎0240-25-2111)						
	ペット・ブラ	可燃			可燃	

※岩倉先生のこころの相談の予約は 住民福祉課(☎0240-23-6150) ※もろもろ塾の予約は 社会福祉協議会(☎0240-25-4157)

医療機関 情報	◆ 県立ふたば復興診療所(ふたばリカーレ) ☎0240-23-6500						◆ ときクリニック ☎0240-25-1222					
	診療科目	月	火	水	木	金	診療科目	月	火	水	木	金
	内科	○	○	○	○	○	内科・小児科		○	○	○	○
	整形外科	○		午後のみ	午前のみ		※来院時送迎あり					
◆ 県立ふたば医療センター附属病院 ☎0240-23-5090 救急のみ 24時間365日							◆ 蒲生歯科医院 ☎0240-25-2061 歯科(月~金)					

みんなの掲示板

上井出行政区の皆さんへ

平成31年度上井出行政区総会を次のように開催します。ぜひご参加ください。

○日時 4月14日(日) 10時00分~

○場所 上井出地区集会所

衛生害虫(蚊など)の駆除

申込みにより、町内の住宅及び住宅周りの衛生害虫の駆除を行います。同封している「平成31年度 衛生害虫駆除希望申込書」でお申込みください。

- ① 対象 檜葉町内の住宅(※1世帯につき1件)
- ② 受付期間 5月10日(金)まで(280件まで先着順に受付)
- ③ 申込方法 FAX(0240-25-1100)または窓口提出

●お問い合わせ先／
くらし安全対策課 環境係 ☎0240-23-6109

住民税の申告、お済みですか？

住民税及び所得税の申告相談は3月15日で終了しましたが、まだ申告がお済みでない方がいます。申告を済ませていないと、税証明書を発行できないだけでなく、**町税の軽減措置の対象にならなかったり、本来受給できるはずの手当などを受けられなくなって**することがあります。

下記のとおり、再度、住民税の申告相談を行いますので、まだ済んでいない方は必ず申告してください。
なお、収入のなかった方や扶養されている方についても、「収入なし」の申告が必要ですので、税務課までご連絡ください。

○日時と場所

日	時	場 所
4月18日(木)	9:00~17:00	役場税務課
4月19日(金)		
4月20日(土)	9:00~16:00	

※今回の申告は、住民税の申告のみです。
所得税の申告は行えません。

●お問い合わせ先／税務課 ☎0240-23-6101

お悔やみ申し上げます(敬称略)					
氏 名	年齢	行政区	氏 名	年齢	行政区
山内 利夫	68	北 田	猪狩ヌエ子	90	大 谷
菅野 光男	95	繁 岡	松本 永子	89	下小嶋
青木 勝子	77	大 谷	藤浪 侑子	84	波 倉
坂本 敬	73	北 田	青木 千枝	81	北 田
皆川 慎子	71	下小嶋			
(広報ならは3月号掲載以降亡くなられた方)					

4/14(日) 大瀧神社例大祭 浜下り神事神輿行列

昨年から再開した「浜下り」は、古来から檜葉に春を告げてきた伝統行事です。
浦安の舞は檜葉まなび館で披露されます。ぜひご覧ください。



- 9:00 木戸八幡神社にて例大祭
- 9:30 神輿行列出発
- 11:00 お塩垢離(山田浜)
- 12:20 神事・浦安の舞(檜葉まなび館)

5/19(日) 狂犬病予防注射の集合接種

町内で犬を飼っている方に、狂犬病予防集合接種の日時と場所をお知らせします。

飼い主の方は、法律に基づき1年に1度狂犬病予防注射を犬に受けさせることが義務付けられています。愛犬の予防接種を忘れずに！

- 日時 5月19日(日) 13時30分~15時00分 ※雨天決行
- 場所 役場前(正面駐車場)
- 料金 1頭につき3,200円
(注射料金2,650円・注射済票交付手数料550円)
- 注意 料金は、お釣りのないようにご準備ください。
必ず通知ハガキをお持ちください。
必ずリードを付けてください。

●お問い合わせ先／
くらし安全対策課 ☎0240-23-6109

4月の納税等

■ 軽自動車税(全期) 納期限:5月7日(火)

忘れずに納めましょう。
また、口座振替の方は5月7日(火)に引落としとなりますので、残高の確認をお願いします。

●お問い合わせ先／税務課 ☎0240-23-6101

おめでとうございます(敬称略)		
氏 名	保護者名	行政区
おおこし ひなた 大越 陽向	陽介・裕佳	下小嶋
もうえ かなた 馬上 叶陽	響・あすか	大 谷
いがり りん 猪狩 凜	勇太・鈴香	下繁岡
おおた かいり 大和田海有	隆史・愛子	下小嶋
くまの ゆつき 熊野 結月	次男・真由美	上井出
(広報ならは3月号掲載以降に生まれになられた方)		



酒葉の風

翔子

4月17日水販売開始

■ 販売場所

■ 酒葉町サイクリングターミナル

■ ブイチエーシネモト

■ Jヴィレッジ

■ 富岡駅売店



種 類	容 量	平成31年出荷予定本数
純米大吟醸酒	1升(1,800ml)	500本
特別純米酒	1升(1,800ml)	450本
純米大吟醸酒	4合(720ml)	1,100本
特別純米酒	4合(720ml)	1,800本
純米大吟醸酒 うすにごり生酒	4合(720ml)	200本
特別純米酒 うすにごり生酒	4合(720ml)	200本
特別純米酒	ミニボトル(300ml)	1,000本

復興のサクラ咲け

今年もサクラの季節になりました。サクラの美しさに寄せる畏敬や憧憬は、日本人に共通したものでしょうか。いつまで見ても飽きないほど、美しいものです。

少し前までは、復興状況の姿かたちが見えにくく、復興の進捗がなかなか皆さんに伝わらず、もどかしかった時期もありました。しかし、今月はスカイアリーナのオープン、カントリエレベーター等の落成、Jヴィレッジの全面再開、道の駅の再開など、一気に花開いています。開花宣言をしたいような喜びです(笑)。

町は、来年度までを「本格復興期」として各施策に取り組んでいます。あと2年が勝負です。今こそ、真の復興のために全力をふりしぼり、酒葉の大地に根を張った絢爛たる復興のサクラを咲かす覚悟です。

ところで、以前にも書きましたが、私は健康のため、スカイアリーナで運動しようと思った決めています。町民の皆さんと挨拶を交わしながら気持ちよく汗を流せたら、なんと幸せなことでしょう。気分がよく、ついビールがすすんでしまうのではと、余計な心配までしています。

町長コラム

MAYOR'S COLUMN

Vol.17



酒葉町役場 連絡先一覧

酒葉町役場本庁舎

- 総務課 ●税務課 ●住民福祉課
- 復興推進課 ●政策広報室
- 産業振興課(農業委員会含む)
- 新産業創造室 ●建設課
- くらし安全対策課 ●出納室
- 議会事務局

〒979-0696
 双葉郡酒葉町大字北田字鐘突堂5-6
 TEL 0240-25-2111
 FAX 0240-25-5564
 ☎0120-562-171(フリーダイヤル)
 E-mail: naraha@town.naraha.lg.jp
 【土日祝日は日直対応 8:30~17:15】

酒葉まなび館 (旧酒葉南小) ●教育総務課

〒979-0514
 双葉郡酒葉町大字下小塙字麦入31
 TEL 0240-23-6190
 FAX 0240-23-6192

あおぞらこども園 ●子育て支援センター

〒979-0604
 双葉郡酒葉町大字北田字中満296-1
 TEL 0240-26-0808
 FAX 0240-25-1145



酒葉町公式ブログ
 こころ、つながり、ならは

<http://ameblo.jp/naraha7700/>



酒葉町
 公式 Facebook

<https://www.facebook.com/kokoro.tsunagu.naraha>